

## 都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査の集計結果について

## 世論調査概要

調査目的：東京都スポーツ推進計画に掲げた目標の達成度を把握し、2020年に向けたスポーツ都市東京実現のためのスポーツ推進策を展開する基礎資料とするため

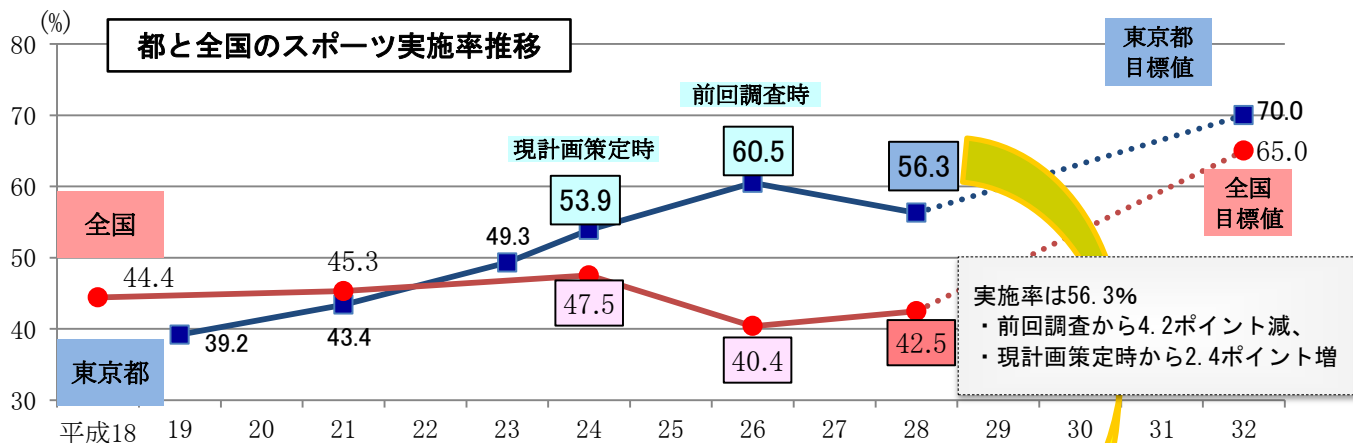
調査対象：満18歳以上の男女混合（前回調査は「満20歳以上」を対象）

有効回収標本数：1,820標本/3,000標本（60.7%）

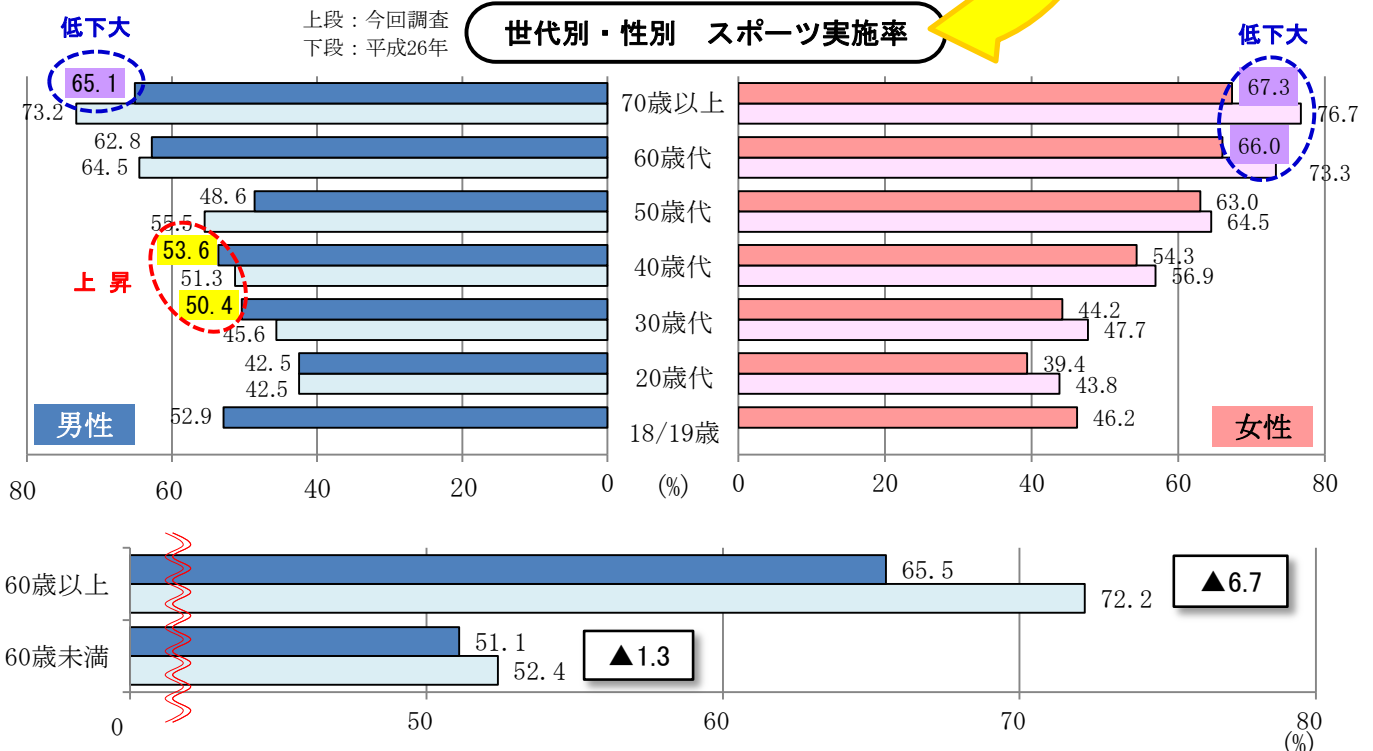
調査方法：戸別訪問面接調査

調査期間：平成28年9月16日～平成28年10月2日

## 1 スポーツ実施率（週1回以上、スポーツや運動を実施した人の割合）



○ 全国的にスポーツ実施率は低く推移（全国では24年度から28年度に5.2ポイント減）

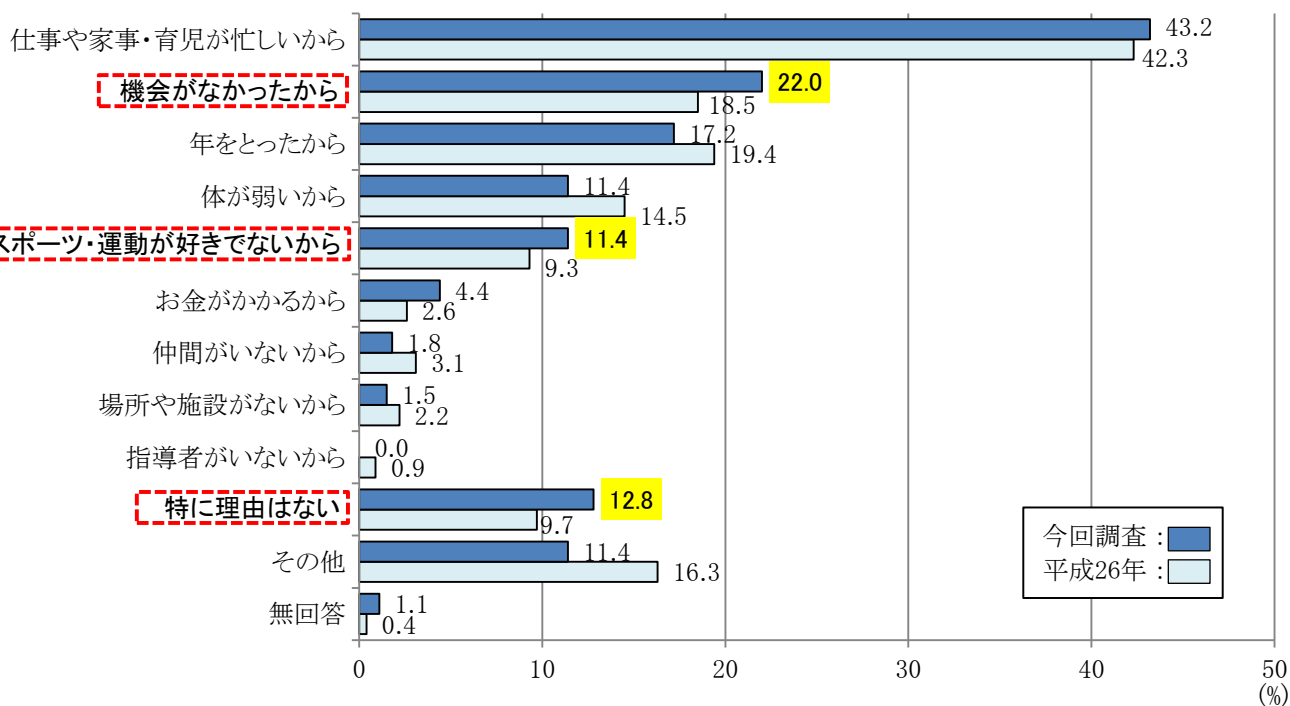


○ 60歳以上の高齢層の実施率が大きく低下（60歳未満の実施率は、ほぼ横ばい）

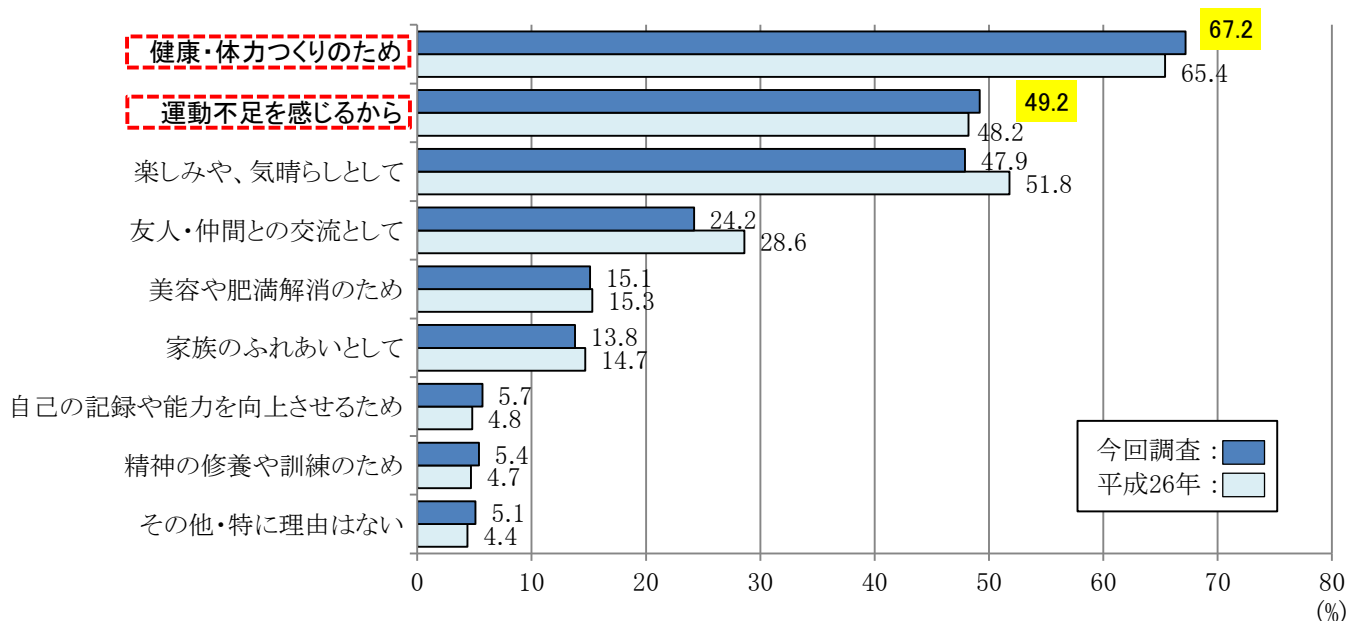
○ 男性の働き盛り世代（30～40歳代）の実施率は上昇

## 2 スポーツや運動を実施しなかった理由、実施した理由

Q あなたが、スポーツや運動を実施しなかったのはどのような理由からですか。（複数回答）



Q あなたが、スポーツや運動を実施したのはどのような理由からですか。（複数回答）



- 増加している理由からは「機会がなければやらない」「嫌いだからやらない」「何となくやらない」等、スポーツへの関心低下が伺える。
- スポーツ・運動を実施した理由には、健康増進を目的とした回答が多い

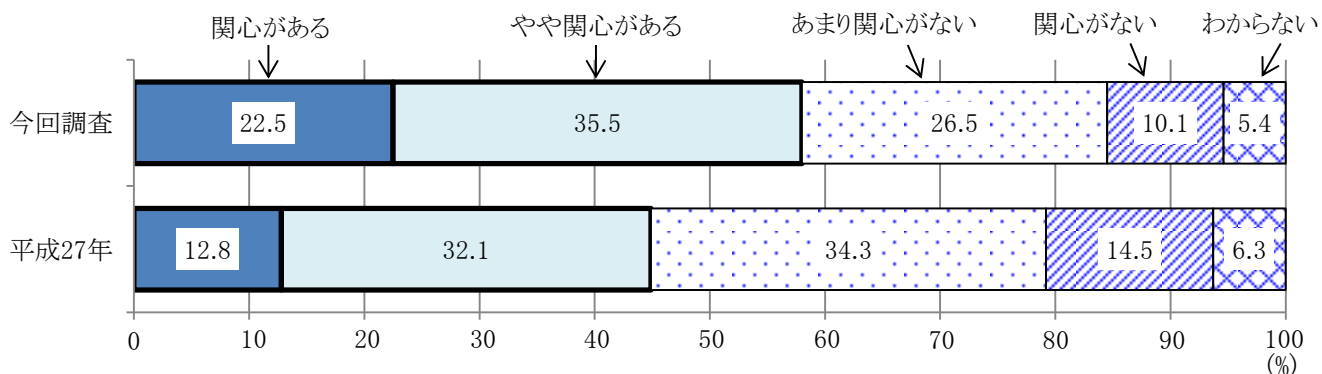
### 世論調査の集計結果を踏まえた今後のスポーツ振興の方向性

- スポーツ実施率が低下した「高齢層」及び「女性」等、世代や性別の特性に応じたスポーツ振興施策の検討
- スポーツがもたらす効果や効用、スポーツをする楽しさ等を分かりやすく伝える等、スポーツに関心の低い都民の関心を喚起する施策の検討

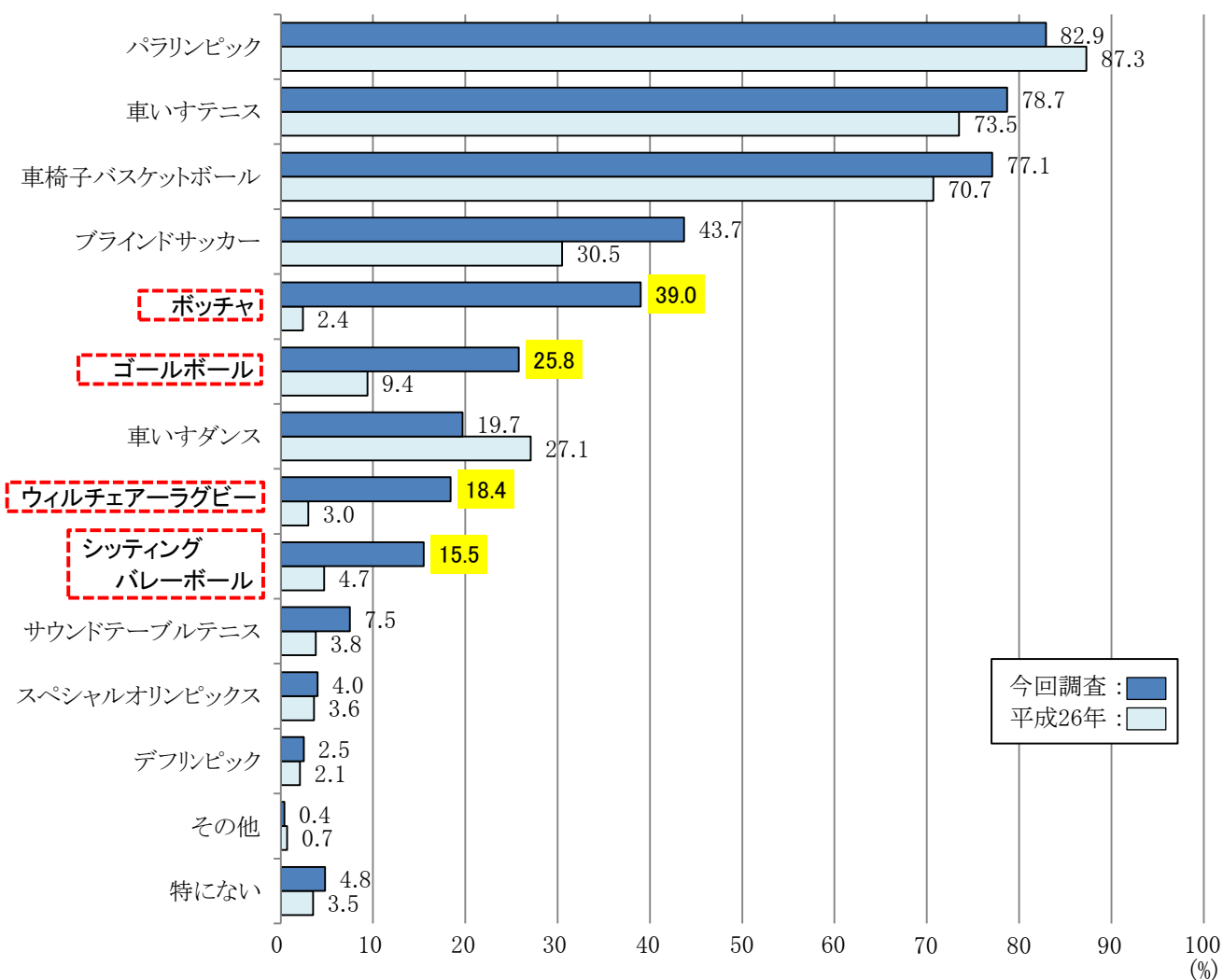
### 3 障害者スポーツへの関心

障害者スポーツに関心がある人は58.0%（前年に比べ13.1ポイント増）

Q あなたは、障害者スポーツに関心がありますか。



Q あなたが知っている、または聞いたことがある障害者スポーツの用語はありますか。



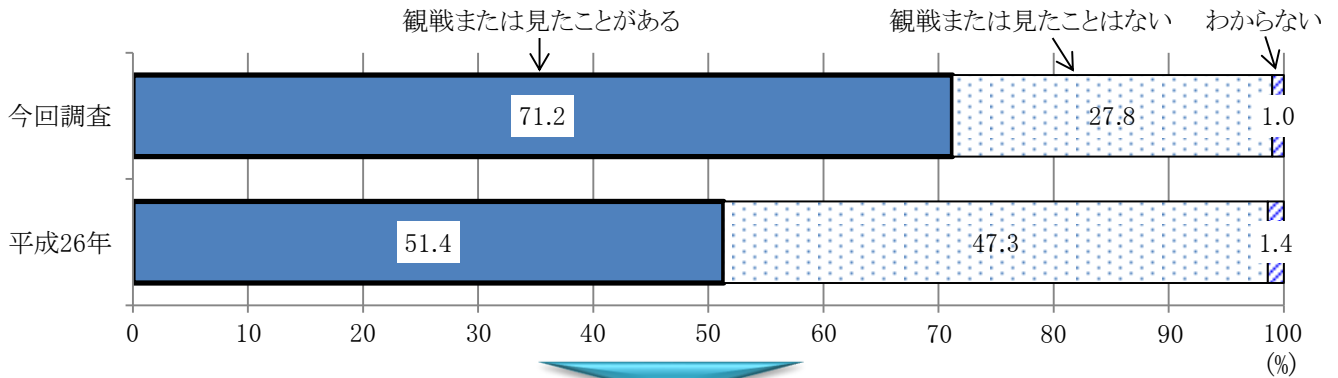
- 障害者スポーツに対する都民の関心は、大きく上昇（前年に比べ13.1ポイント増加）
- マスメディア等で取り上げられた競技を中心に、用語に関する認知度も大きく向上

※平成27年は「都民生活に関する世論調査（平成27年8月調査）」、平成26年は「都民のスポーツ活動に関する世論調査（平成26年10月調査）」

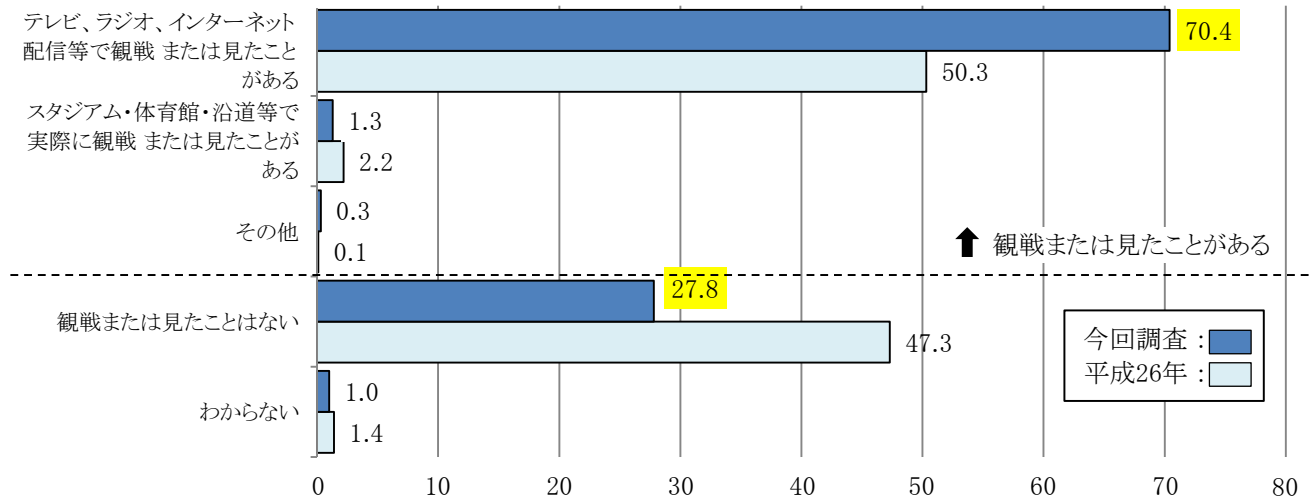
## 4 障害者スポーツの観戦

障害者スポーツやパラリンピック競技を観戦または見た人は71.2%（19.8ポイント増）

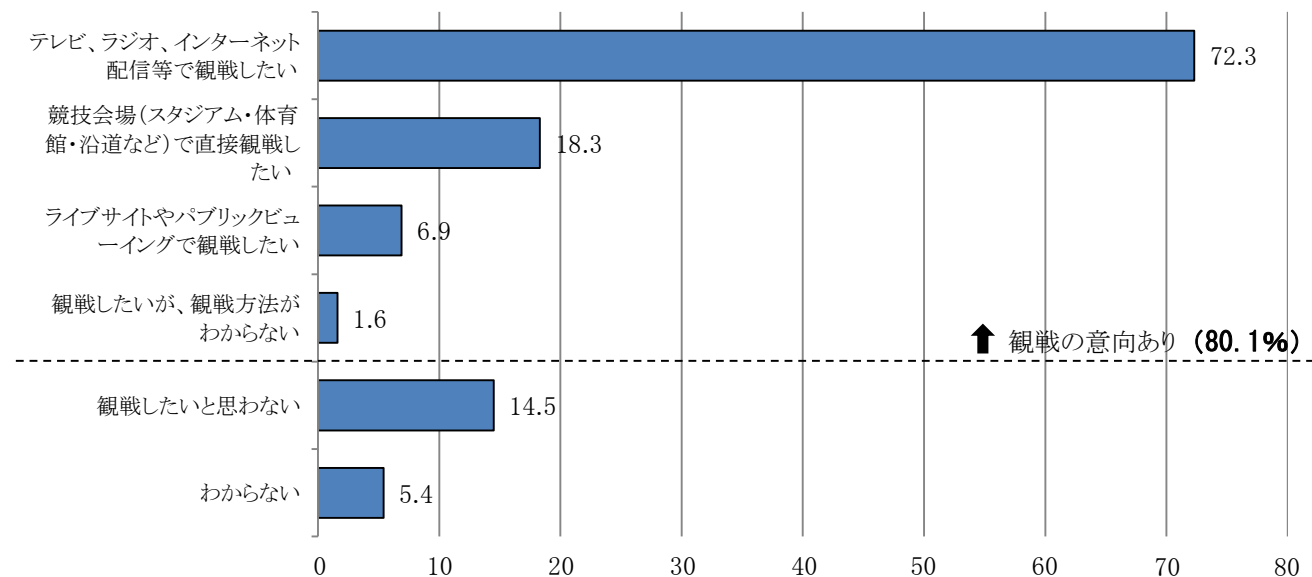
Q あなたは、この1年間に障害者スポーツやパラリンピック競技を観戦または見たことがありますか。



### 【観戦または見た方法】



Q あなたは、東京2020パラリンピック競技大会をどのようにして観戦したいですか。



- 見たことのある人の割合は大きく上昇しているが、実際に観戦した人は依然として低い
- 東京大会の観戦意向を持つ都民は約80%であり、競技会場での観戦意向は約20%